

2022 年度（令和 4 年度）すてっぷ利用者アンケート調査結果報告

【アンケート調査の目的】

「とよなか男女共同参画推進センターすてっぷの管理運営に関する基本協定書」第 28 条に基づく自己モニタリング実施及び指定管理者の業務改善に役立てるために実施しました。

アンケートの回答者は各々情報ライブラリー利用者、貸室・ロビー利用者、講座参加者、相談利用者に呼び掛けました。同時に市政デジタル強化に呼応するカタチで、利用者にも普及が進む「スマートフォン」などからも回答可能な Web フォーマットも準備いたしました。

＜部署ごとのアンケート＞回収数 （ ）内は 2021 年度（令和 3 年度）の回収数

情報：89（92）件、施設：100（114）件、講座：71（112）件、相談：52（76）件 合計 312（394）件

【アンケートの実施期間】

2023 年（令和 5 年）2 月 2 日（木）～2023 年（令和 5）年 2 月 28 日（火）

【アンケートの調査方法、対象者】（Web 回答用の QR コードを印刷しました）

- ① 貸室受付、ライブラリーカウンターにて調査票を配布しました。
- ② 自習室 My すてっぷ開始前、巡回時に配布しました。
- ③ 主催講座の参加者に調査票を配布しました。
- ④ 相談室利用者に調査票を配布しました。
- ⑤ 印刷コーナーなどロビー利用者に調査票を配布しました。

1. 利用者像、施設への関心、管理状態への評価

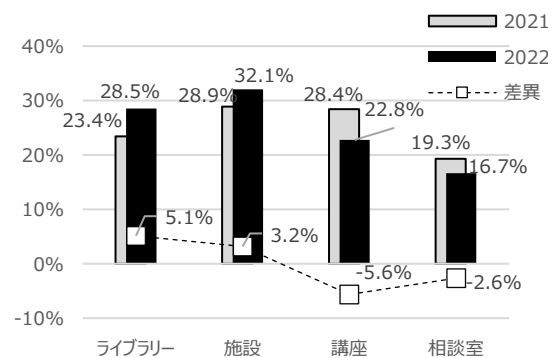
(アンケート回収内容、設問 1～4)

全体数はライブラリー、施設にやや偏り

工事で減少していたフロアへの往来が回復してきた 2 月の一月間で利用者アンケートを実施しました。

講座、相談については、配布機会が限られましたが、全体数は 300 件を確保しました。

共通設問での構成比は随時往来があった、ライブラリーと施設（貸室・ロビー）への偏りが大きくなっています。



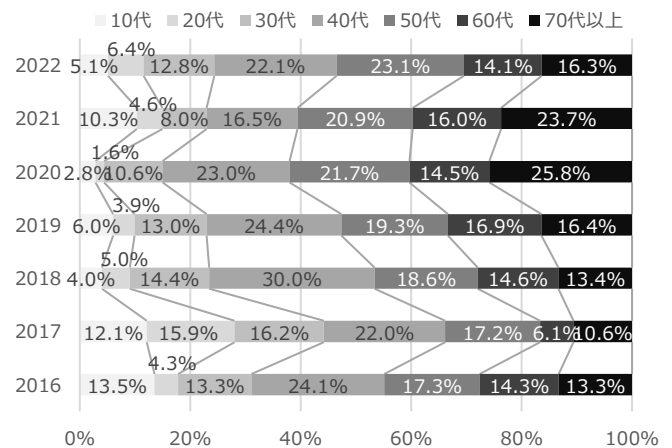
【1】事業別のアンケート回収状況（前年比較）

世代別の回答構成比がコロナ禍前に回帰

昨年と異なり、2 月は主要な試験の最中で学生の自習室利用が少なく 10 代の回答比率が減少したが 20 代から 50 代で 64.4%を占めています。

コロナ禍の 2021～2022 年は高齢世代への偏りが解消され、コロナ禍前 2019 年の中間層の往来が回帰する兆しがみられます。

いずれの世代にも開かれた施設として、引続きバランスのとれた対応に努めます。



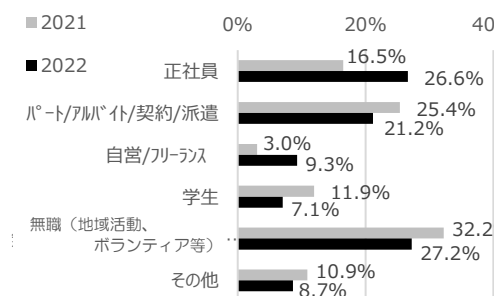
【2】年齢階層別のアンケート回収状況（2016 年からの推移）

豊中市在住で 75%を占め、内訳では中部で 40%と過半を占める

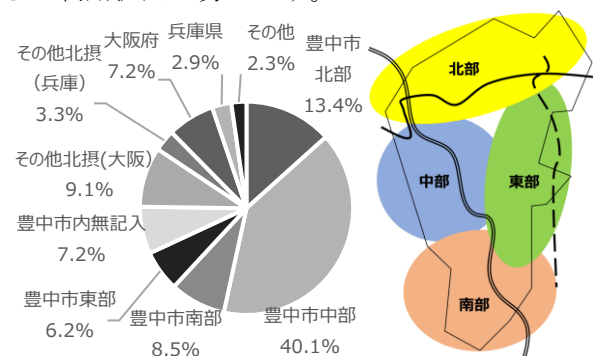
利用者を就業別の構成比でみると、前年より正社員が約 10 ポイント、自営・フリーランスが約 6 ポイント増えました。

次に居住場所別にみると、豊中市在住で 75.4%と昨年同等の構成比です。内訳ではすてっふや市役所のある中部 40.1%、北部 13.4%、南部 8.5%、東部 6.2%となります。

引続き、市内でも利用の少ない南部、東部からの利用拡大に努めます。



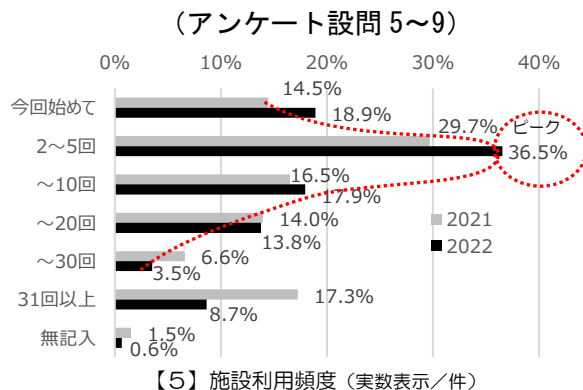
【3】就業等別のアンケート回収状況



【4】住まいエリア別のアンケート回収状況

施設利用の最頻度は2～5回／年

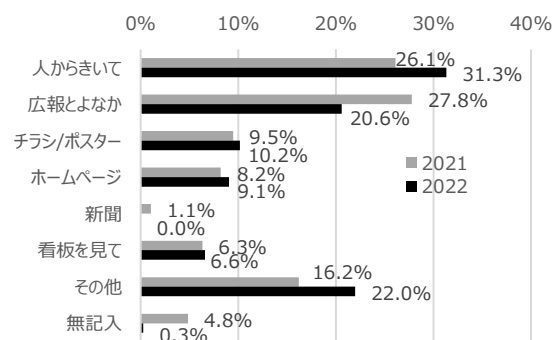
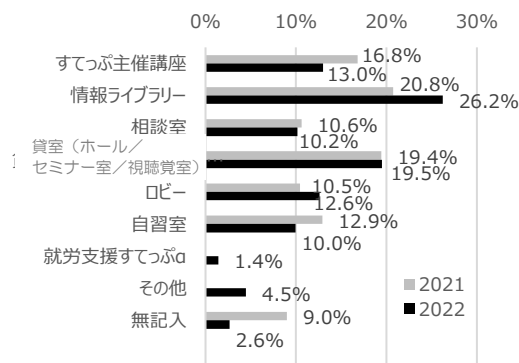
利用頻度でみると、2021年度に多かった31回以上（常連さん）の構成比が減少し、今回初めての方が約4ポイント、2から5回利用の方が約6ポイント増加しています。工事から再開した今回の利用者アンケートは、前年に比べて初見の厳しい目線で評価をしている傾向があると思われます。



就労支援スペース「すてっぷα」取組み開始

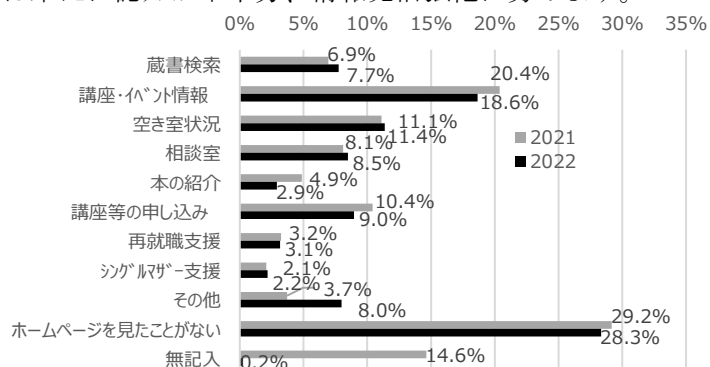
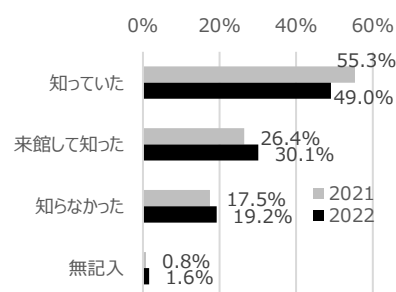
利用目的別では回答数と同じでライブラリー利用が最多となっています。新しくはじめた就労支援スペース「すてっぷα」、自習室、ロビーを足した構成比は24.0%で前年の自習室とロビーを足した23.4%から微増となっています。

認知媒体でみると「人からきいて」（口コミ）が増加し、「広報とよなか」が減少しました。実際、月次で掲載が無くなった相談については総合受付への問い合わせが増加しました。



男女共同参画施設と知らない方が約20%、ホームページを見たことが無い方が約30%

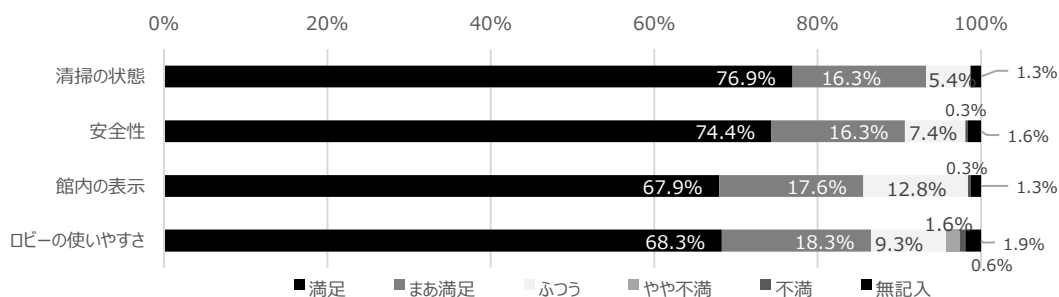
知らない方と、来館して知った方とあわせると半数の方が男女共同参画施設と知らずに来館されています。ホームページは未だに認知が不十分、情報発信強化に努めます。



施設全体の管理状態は良好

(アンケート設問 10～15)

施設全体の管理状況について「まあ満足」「満足」を足してみると、【10】「清掃の状態 93.2%」、【11】「安全性 90.7%」、【12】「館内の表示 85.5%」、【13】「ロビーの使いやすさ 86.6%」であり、管理状態は良好といえます。

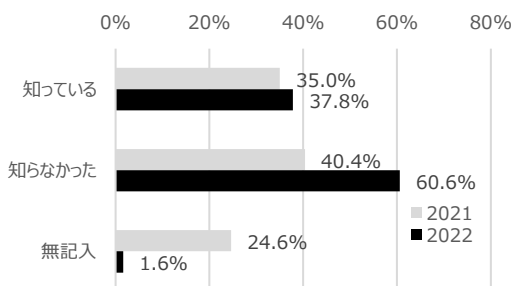


【10～13】施設管理状況満足度（構成比%）

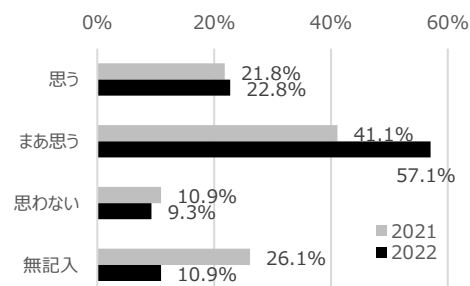
2. 相談事業についての関心

すてっぷの相談が無料であることを知っているかをたずねた設問【15】では、60.6%が「知らなかった」と回答、女性向けだけでなく男性向けの電話相談について、知人男性にすすめるかをたずねた設問【16】では「思う」「まあ思う」を合わせて約8割（79.9%）が好意的な回答をしています。

(P. 16 6. 性別に起因する人権侵害及び悩みに関する相談事業で詳しく記載しています。)



【15】相談が無料と知っているか（構成比%）



【16】男性相談を知人にすすめるか（構成比%）

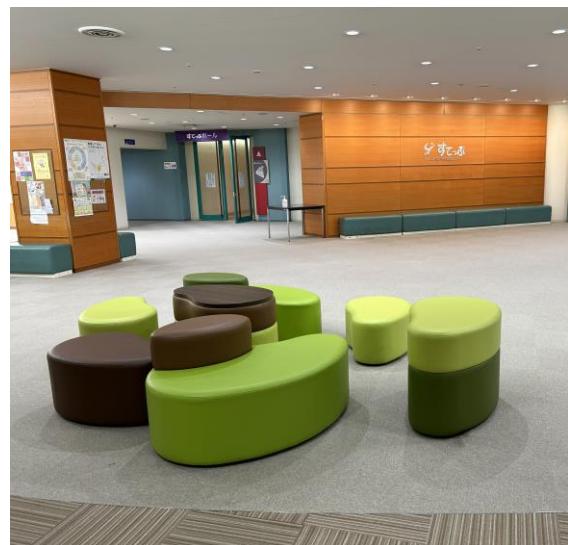
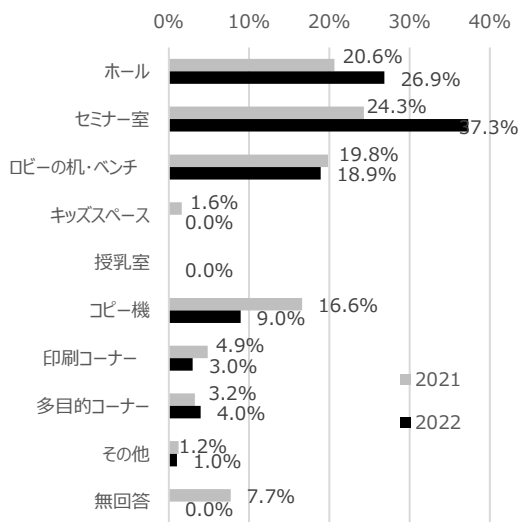
3. 施設提供事業について

(アンケート回収内容、設問 16～17)

ロビーは明るくなったと好評、フリースペースの再整備

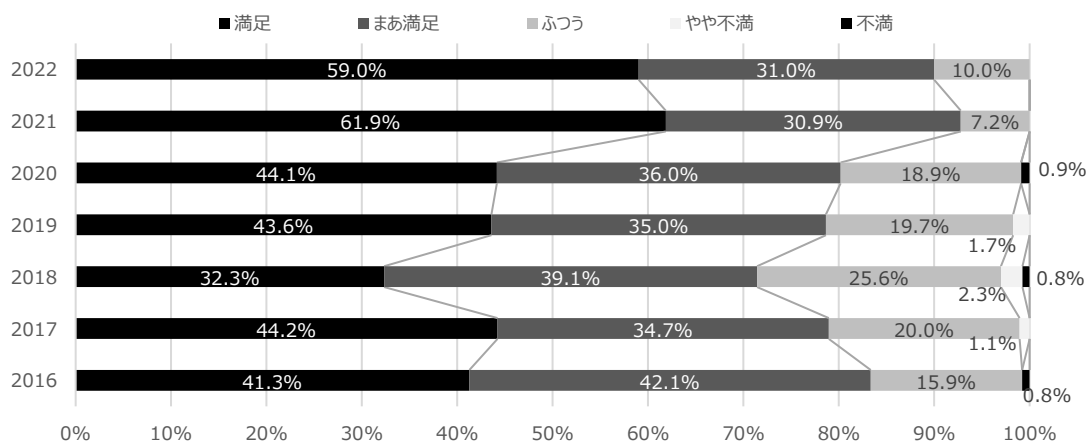
2022 年度は 12 月 1 日（木）の全面再開まで、迷路のようなフロアで利用者に不便をかける状況がありました。共通設問の施設管理評価では清掃の状態、安全性、館内の表示、ロビーの使いやすさとも 80%以上の満足度でしたが、ロビーはもっと活用の工夫ができそうです。

ロビーは LED 照明への切替、カーペットフロアの張替、影をつくっていた什器の移動で、明るくなったと好評を得ています。元よりロビーはホールイベントのホワイエ（人溜まり）としての機能があり、不用意に什器を設置できませんが、キッズスペース再開への問い合わせなど、コロナ禍で休止した内容については検討し、順次再開を計画しています。



【施設 16】利用したことがある施設（構成比%）

【ロビー写真】



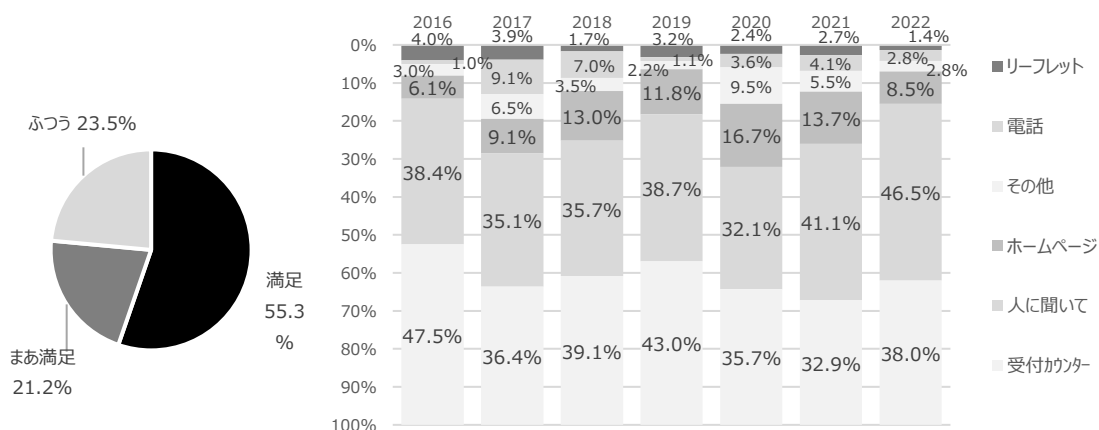
【施設 17】利用したことがある施設の満足度（構成比%）

引続き、ホームページ、リーフレットの情報発信が課題

(アンケート回収内容、設問 18～21)

空いている貸室を「自習室 My すてっぷ」として無料開放していますが、有料貸室を利用した 65.0%の方々が「知らなかった」と回答しています。

順が前後しますが、設問【21】「ホールやセミナー室の貸室申し込み方法やルールは何で知りましたか」は受付カウンター、人に聞いて、と職員から聞く方が 8 割を占めます。これはホームページやリーフレットでは貸室申し込み方法やルールがわからず、受付でも十分に対応がしきれない状況を反映して、設問【20】受付対応の満足度が 76.5%にとどまっています。

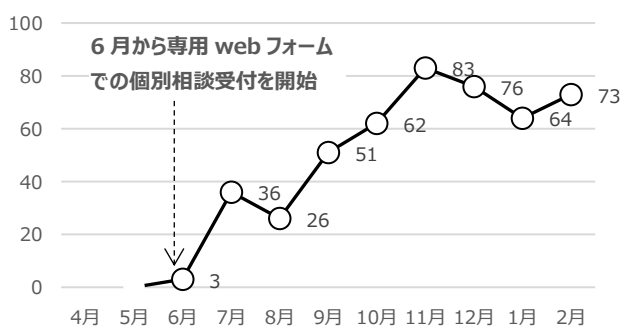


2022 年度から新しくなった「とよなか公共施設案内予約システム」は、全館共通化され使いやすくなりました。一方で、未だに多層に渡る手続きには苦言をいただく場面も多く、わかりやすい説明へ、ホームページ、リーフレットの表現も含めて工夫に努めます。

利便性を高める工夫として、貸室予約受付を再開した 6 月から、専用 web フォームを活用し、来館せずにメール、さらに電話でフォローする事前の目的利用個別相談を強化してきました。

その効果は大きく、これまでの初めて利用する典型的な例と比べると来館時の対応時間は 1/3 から 1/4 に短縮、利用者の滞在時間は 5 分から 10 分程度となっています。

参考までに「事前の目的利用個別相談」をしていない場合は、利用者への説明は短くても 30 分、質疑を含め 1 時間に及びます。初見からの長時間対応は月数件に減少できましたが、初見利用者の気持ちになって、より丁寧な説明を心がけてまいります。

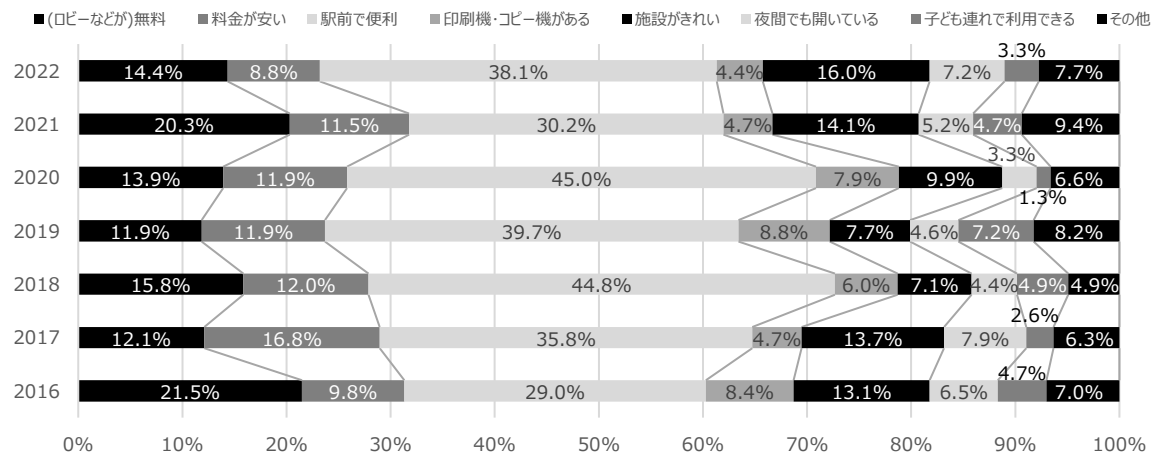


【参考】目的利用 事前の個別相談件数/月（2022 年度）

依然として「駅前で便利」がすてっぶの強み（アンケート回収内容、設問 22）

すてっぶを利用している理由は「駅前で便利」が 38.1%、他はいずれも 2016 年からの推移をみても大きな変化は無く、唯一「施設がきれい」が昨年から約 2 ポイント、これまでで最も評価が高くなったことは、フロアカーペットを張り替えた効果と考えられます。

いずれにしても、阪急豊中駅から雨に濡れずに利用できる好立地であることは、利用者の重要な判断材料となっています。



【施設 22】すてっぶを利用している理由（構成比%）

【ご意見事例】

回答者属性	内容
貸室40代女性	いつも活動するのに親切に対応してくださってたすかっています。
貸室60代男性	とてもいい所ですね！パソコンも貸出してくれていいと思います。
貸室40代男性	駅から近く、原付で来ても同じ館内に原付置き場があるのは助かります。館内もきれいで好きです。
貸室30代女性	駅前で便利だと思います。
貸室30代女性	駅直結で便もよく、施設内のトイレ等も手入れが行き届いており、いつも気持ちよく利用させていただいています。

【苦言、要望】

回答者属性	内容
貸室70代女性	5 階ロビーの椅子が少ない。ずっと立っているのは疲れる。
貸室40代男性	HP での予約簡単にして下さい。
貸室50代男性	もう少し前に入室させてほしい。
貸室40代男性	自販機どこかにまた置いて下さい。なくなっていてショックでした。
貸室60代女性	登録グループであるのに、毎回審査があるのは納得できない。

4. 情報ライブラリー業務について

(アンケート設問、情報 16～19)

ライブラリーカウンターの職員対応および環境は、高い満足度を維持 (16～17)

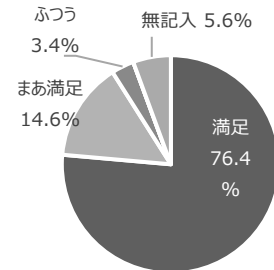
「カウンターでの職員の対応」についてみると「満足」「まあ満足」を合わせて 91.0% となり、前年に引き続き 90% 以上の高評価を維持できています。

「不満」「やや不満」はいずれも昨年度から引き続き 0% でした。これからもスタッフ全員で、丁寧な接遇を心掛けます。

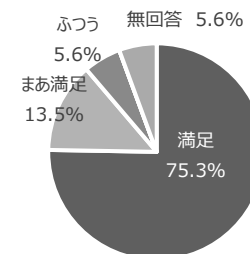
「ライブラリー内では落ち着いて快適に利用できるか」についてみると、「できる」「まあできる」の合計が 88.8% と高い評価となっていますが、前年同集計の 95.7% と比較すると 6.9 ポイント減少しています。

施設として、新しい利用者（回答者）が増えている中、より高いレベルの快適性を求められているようです。図書室としては、LED 照明に刷新され手元照度が向上するなど、環境要因は改善されています。

今後は、よりライブラリー内で、お困りになられている様子などに一層気を配れるよう見廻りを強化し、利用者が快適に過ごせるよう取り組みます。



情報：設問 16：ライブラリー職員の対応満足度（構成比）



情報：設問 17：ライブラリーの快適性について（構成比）

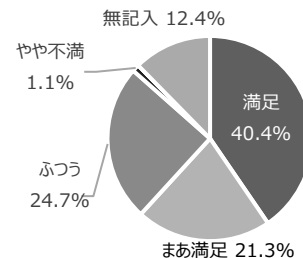
専門図書室としての評価は一定の満足度を維持 (18～19)

「専門図書室としての資料収集」をみると、「満足」「まあ満足」の合計が 61.7%、前年の 53.1% と比べて 8.6 ポイント増加、「やや不満」「不満」の合計は 1.1% と前年の 3.1% と比べて 2 ポイント減少しました。

具体的には、利用者ニーズに照らしたテーマを軸に、豊富な資料に触れる「展示」を月毎にテーマを替えて実施しています。また、「本の福袋」として提供するほか、スタンプカードラリーなどの取り組みを実施して、資料に触れる機会を増やすようにしてきました。

利用者からは「展示本を見て、初めて読んだ本も多い。ためになります。読んだことのないジャンルの本を読むこともできました。」「スタンプラリーはずっと続けてほしいです。一生懸命読むようになりました。」などの声が寄せられました。

一方で「趣味の本を揃えて欲しい。」「女性問題以外にも家族の楽しい話題の本も入れて頂きたい。」などの意見があったことから、男女共同参画に関する専門図書室としての周知が不十分と気付かされます。今後も、専門性を保ちながら、利用者の満足度向上につながる資料収集と提供に努めます。



情報：設問 18：専門図書室として、資料収集状況の満足度（構成比）

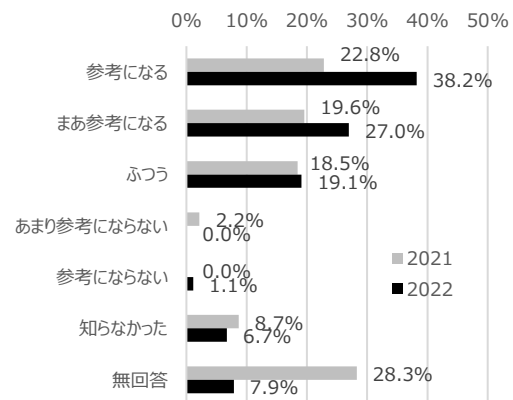
展示の工夫で専門図書室の役割を果たす (20)

前述した各コーナーの図書展示について
 みると、「参考になる」が38.2%で前年
 より15.4ポイント高い評価となりました。
 「まあ参考になる」とあわせると65.2%で、
 前年の59.1%からは増加しています。
 「知らなかった」は5.6%で前年の12.1%と
 比較すると半減し、認知度が向上しています。
 前年同様、ジェンダーに関するイベントや
 講座などに合わせたメインテーマの展示を
 毎月実施し、Twitterを通じてさらなる周知
 を図りました。

また、面展台では、男性の家事育児参画、性教育、女性に対する暴力防止に関する資料など、
 身近に感じられる社会問題を取り入れたテーマ展示としました。

今後も、利用者が関心をもてるような展示を工夫することで、男女共同参画の専門図書室
 としての役割を果たしていきたいと考えています。

(アンケート設問、情報 20～21)



【情報 20】各コーナーの図書展示は参考になりますか。(構成比%)

継続の力でパネル展示の認知が向上 (21)

男女共同参画に関するパネル展示は、情報
 ライブラリー入口で実施したほか、工事期間
 中には「すてっぷホール」の廊下を活用して
 展示するなど「継続すること」にこだわって
 実施をしてきました。

その結果、パネル展示が参考になるか、を
 たずねた【設問 21】について、「参考になる」
 が36.0%となっており、前年と比べて16.4
 ポイントも高い評価となりました。

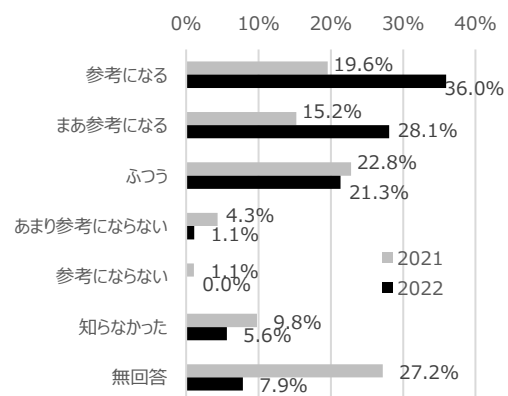
さらに「まあ参考になる」とあわせると

64.1%で、前年の34.8%から、約2倍となる高い評価となっています。

また「あまり参考にならない」「参考にならない」を足した数字も、前年の5.4%から1.1%
 まで減少しており、展示を見たほとんどの方から評価された、と手応えを感じています。

また、前年同様、男女共同参画週間や女性に対する暴力防止など、テーマに沿ったパネル
 展示を継続する一方で、※NWECC (ヌエック) 作成の女性アーカイブセンター展示パネルを取り入
 れた新たな試みも進めています。※National Women's Education Center 独立行政法人全国女性教育会館

今後は、より多くの利用者が理解しやすい「すてっぷ独自のパネル展示」へと内容を充実さ
 せていきたいと考えています。



【情報 21】ライブラリー入口やホール廊下でのパネル展示は参考になりますか。(構成比%)

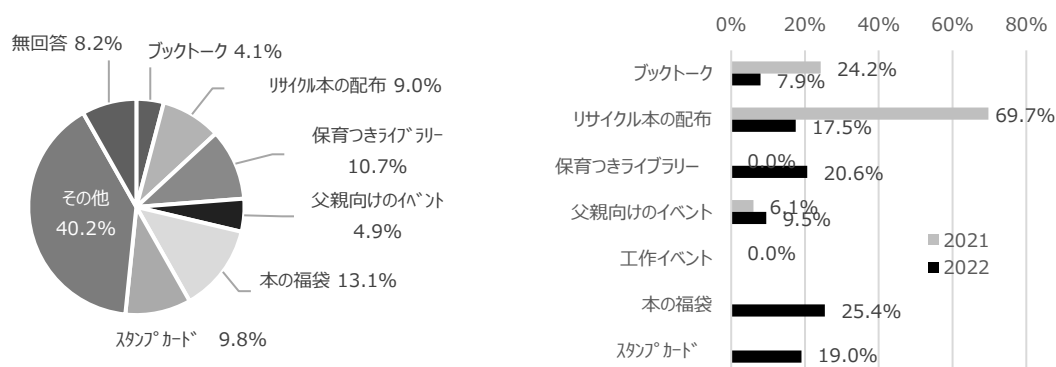
コロナ禍以降ライブラリーに期待されるイベントの変化（22）

（アンケート設問、情報 22）

「ライブラリーのイベントで、どんな内容なら参加してみたいですか」の回答をみると、「本の福袋」が 13.1%、「保育つきライブラリー」が 10.7%、「リサイクル本の配布」が 9.1% となっている一方で、その他（内容も無記入）、無回答が半数を占めました。コロナ禍以降、さらに多様化すると思われるニーズを捉えることは容易ではない、と痛感しています。

参考に、その他や無回答を除く項目で、前年と比べてみると「保育つきライブラリー」や「父親向けのイベント」の割合が高くなっています。リサイクル本の配布が回答の大半を占めていた前年とは大きく異なる回答傾向となっており、情報ライブラリーに期待されるイベントの内容が変化してきていることがわかります。

また、保育つきライブラリーは、しごと準備相談と連携している事業としての高い期待に応えられるよう、さらに創意工夫してまいります。



【情報 22】ライブラリーのイベントで、どんな内容なら参加してみたいですか（構成比%）

【ご参考】設問 22 回答から、その他、無回答を除く項目で、前年と比較（構成比%）

【ご意見事例】

情報40代女性	他の市立図書館よりも静かで利便性もよく、資料や本が分かりやすく並べられてあり、使いやすいです。保育つきライブラリーのしくみは大変ありがたいので、月に 2 回くらいあるとより嬉しいです。
情報40代女性	保育付きのイベントがあり、とても助かっています。イベントに参加した後はとても豊かな気持ちになり、育児に前向きになれます。いつもありがとうございます。
情報30代女性	子育て中ゆつくり本を選んだり読んだりする時間が普段ないのでありがたかったです。

【苦言、要望】

情報30代女性	昔はキッズスペースがあったのですが、なくなってしまったので、少し残念です。
情報30代女性	育児系の本がけっこう古めなので、新しい情報が手に入ると、より嬉しい。

専門図書室としての周知と利用者目線の情報発信へ

情報発信では、事業などの告知やWeb サイトでの書評ブログや資料紹介のリストなど、センターの取組みを発信しました。また、情報誌では学校へのアウトリーチ事業でも活用できるよう、若い世代に合わせたテーマで作成しました。

今後も専門図書室ということを引き続き周知できるよう、創意工夫した掲示物作成のほか、ホームページへの動画掲載など、視覚的に捉えられる情報発信をおこない、利用者の方が自分事であると捉えやすいテーマ設定や選書による展示に努めてまいります。

また、情報相談でも利用者のニーズや興味に対し、より高いレベルのレファレンスサービスが行えるようスタッフのスキルアップにも励みます。

なお自習利用者からは、「自習席よく利用しています。明るく静かで助かっています。」
「落ち着いて自習、読書が出来る。」といった記述があったため、自習利用でしかすてっぷへ来ない層の方々へ空き時間を読書に使ってもらえるような導入の展開を検討していきたいと思えます。



情報ライブラリー

【ご意見事例】

回答者属性	内容
情報30代女性	いつも丁寧なご対応で、気持ちよく利用しています。ありがとうございます。 子ども向けの絵本も一緒に借りれるので助かります。
情報60代	ジェンダー、セクシュアリティ、ハラスメントに課題を持っているので専門的な図書やイベントが行われるのがうれしい。
情報30代男性	情報がよく入ってくるので役立っている。
情報50代男性	市立図書館にない本があること。
情報40代男性	社会の色々な悩みを持っている人のことが書いてある本をたくさん読めて、辛い人たちを想像できるようになった。
情報50代女性	蔵書の内容がすごく充実していると思います。分け方(配置)も分かりやすいです。近所にあればいいのと思います。
情報10代女性	近くに自習できる場所がなかったから助かります。
情報50代女性	市立図書館にはない(の探しにくい)資料が見つかること。
情報50代男性	探している資料や本についてサポートして頂けることが非常に助かります。
情報60代	さらに専門性にこだわってほしい。全国のハラスメント対策を行っている自治体やグループなどを検索できるようになるとうれしい。

5. 男女共同参画の推進のための講座について

(アンケート設問、講座 16)

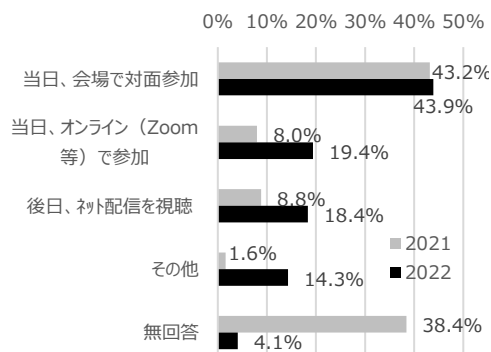
講座への、参加形式のニーズ

新型コロナウイルス感染症拡大により、講座など催しの実施形態は大きく変わりました。講座や講演会の申し込みでは、必ず「オンラインによる参加の有無」の問合せがあります。

【設問 16】講座などの催しへ「参加しやすい形式」について前年と比べてみると（今年、前年とも無回答を除いた構成比）「当日、会場で対面参加」は、前年 43.2%に対し今年は 43.9%と、対面参加の必要性は同等です。

一方「当日オンライン（Zoom 等で参加）」は前年 8.0%、今年が 19.4%と 11.4 ポイント増加、「後日ネット配信」は前年 8.8%に対し、今年は 18.4%と 9.6 ポイントとどちらも増加しています。

中心は会場参加ではありますが、講師のオンライン登壇は元より講座の参加もオンラインが一般的になりつつあると数字にも表れています。



【設問 16】参加しやすい形式について
(構成比%) ※2021、2022 年度とも無回答を除いた

オンライン参加の課題

オンラインでの参加については、従来来館しにくい方々のニーズに応えることができるメリットと、講座の終了とともに「退出」するため、出会い、交流する場としては機能しにくいデメリットがあります。

デメリットの例として、11 月に実施したフリーランスのための基礎講座では、会場とオンライン両方の受講でしたが、会場受講者の個人情報が一方的にオンライン上に流れる点に配慮し、冒頭の交流を目的とした自己紹介は、会場参加者だけで行うことになり、双方が交流する機会ができませんでした。

そのほかにも、レジメなどの資料をオンラインでは配布しない講師もいるため、会場とオンラインでは情報提供に差が出ること、著名な講師の講演会は全国から受講が可能なため、当センターの役割上、いかに豊中市域に還元できるかといった課題もみえてきました。

男女共同参画社会の実現に向け、相談室やライブラリーなどの多面的な機能を市民に活用していただくことがセンターの役割であることを踏まえつつ、センターの使命に照らしたオンラインの活用を検討していきたいと考えています。

【ご意見事例】

講座20代女性	気軽に参加して学べるので有難いです。すてっぷでの学びの機会を通して手話に関心をもてたり、人とつながれたりしました。
講座50代男性	ジェンダー平等社会の実現のためにがんばろうと思える講座や資料が充実している。
講座40代女性	仕事をしていると活用できる時間に限りがあります。登録会員が見られる youtube 動画や zoom 講座等があればもっと活用できると思います。

講座内容に期待するもの

(アンケート設問、講座 17)

2022 年の GGI（ジェンダーギャップ指数）が 146 か国中 116 位の日本の状況において、ジェンダーにもとづく問題に起因する生きづらさや疑問に関する情報、学習の場の提供はセンターの重要な機能のひとつと考えます。

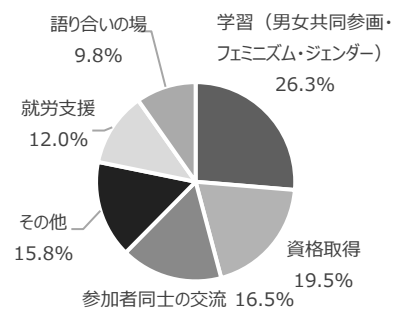
【設問 17】 講座などの催しに期待するものでは、「学習（男女共同参画・フェミニズム・ジェンダー）」が 26.3%、次いで「資格取得」が 19.5%、「参加者同士の交流」が 16.5%と続いています。

最も期待されているものが「学習（男女共同参画・フェミニズム・ジェンダー）」であり、2022 年度のフェミニズム連続講座が好評を得たことと併せて、今後センターの事業展開の参考にすべき数字であると捉えることができます。

また、「参加者同士の交流」16.5%、「語り合いの場」9.8%を合わせて考えると、出会いや交流を求めている声が 26.3%と一定数あり、センターへの多様な期待がうかがえます。

エンパワメントにつながるという意味において、男女共同参画社会をめざす意義を、市民生活に根差した視点から学ぶことが、他施設と異なるセンター独自の重要な役割であると考えます。

今後も、利用者の声に耳を傾け、ニーズに合った講座などの催しを実施してまいります。



【設問 17】 講座などの催しに期待するもの（構成比）

【ご意見事例】

講座40代女性	知りたいと思ってたドンピシャの講座を受講できた。
講座30代女性	女性管理職のモチベーションアップの講座は初めて見かけたので参加できて、とてもうれしいです。
講座50代女性	友人にお誘いいただき始めて参加させていただきました。様々なイベントや支援があることを初めて知りました。機会がありましたら、友人にお伝えしたいです。
講座60代女性	ハローワークの講座よりわかりやすく楽しいので参加しやすい
講座50代女性	講座で学べたり、相談で悩みの解決ができ、ありがたいです。
講座40代女性	いろんな地域、異業種の方と出会えてうれしいです。
講座40代女性	働いている女性同志の集まりがあればいいと思います。（現状独身女性の集まりがあるのは知っていますが、子どもあり、子どもの年齢別に知りたいこともいろいろあると思うので、例えば中高生の親のための集まりやただ知り合いを増やすためだけ、などの集まりがあっても良いのではないかと・・・）

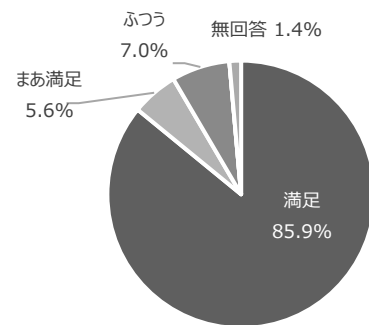
講座担当職員の対応

(アンケート設問、講座 18～19)

【設問 18】 講座担当職員の対応では「満足」 85.9%、「まあ満足」 5.6%と満足との回答が 91.5%で前年 84.3%より 7.2 ポイント高い評価をいただきました。

これは講座、講演会の受付の際、申込者一覧の受付簿を廃止し、より個人情報に留意する方式として個票記入に変更したことが評価の要因のひとつと考えられます。一方、「すでに申し込んでいるのになぜ名前を書かなければいけないのか」というご意見もありますので、ていねいな説明を心がけていきます。

また、職員の対応の評価は、講座や講演会への満足度が影響していると考えられますので、参加者に満足していただける内容、オンラインを含む安心して参加できる方法に今後も注力してまいります。



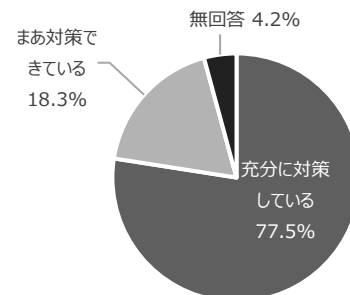
【設問 18】 講座職員の対応満足度（構成比%）

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

【設問 19】 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策では、「十分に対策している」が 77.5%、「まあ対策できている」が 18.5%と、95.8%の方が安心して受講していただいていることがわかります。

これまで基本的な対策のひとつとして実施してきたマスク着用について、国の方針でマスク着用は効果的としつつも「個人の判断が基本」となりました。

今後も引続き、消毒や換気の徹底などを心掛けて、感染対策を行っていきます。



【設問 19】 感染拡大防止対策について（構成比%）

【ご意見事例】

講座40代女性	自分の在住の市には無い、羨ましい内容ばかりで、講演内容も、相談も充実で、スタッフの方の対応も丁寧で親切に感じています。ありがとうございました。
講座40代女性	他市から受講させていただいています。自分の市では、こういった男女共同参画関連がほぼ無く、大きな差を感じます。他市のもので受けさせていただけるよう、今後もよろしくお願いします。

男女共同参画を推進する市民活動支援について

(アンケート設問、講座 20)

2021 年度に引き続き、空調工事のため貸室の利用停止など市民活動の拠点としての機能縮小のため、通常すてっぷを利用する団体も他施設を利用せざるを得ない状況でした。

2022 年 11 月末に空調工事が終了し、リニューアルオープンイベントの際には、主催講座修了生有志の女性起業家を中心に、女性店主応援と掲げたワンテーブルショップを実施しました。施設が存在するからこそ取り組める支援活動の事例のひとつです。

市民活動支援の柱でもある助成金事業は自主的な市民活動を期待し、応募数を A コース 3 事業・B コース 10 事業（上限 4 万円）、C コース 2 事業（上限 20 万円）に設定しましたが、コロナ禍ということも影響し、応募数自体が少ない状況にありました。

市民活動支援について、よいという回答が 83.1%（「とてもよい」57.7%、「よい」25.4%）と、2021 年度の 68.1%より、15 ポイント増加しています。一方「支援内容が分からない」は、2021 年度 8%が 2022 年度は 4.2%に減少しており、空調工事後センターが市民活動の拠点として再開した影響が数字に表れています。

期待される講座、今後の方向性について

【設問 17】講座などの催しに期待すものでは、資格取得 19.5%、就労支援 12%と、具体的な支援を期待する回答が約 3 割ありました。

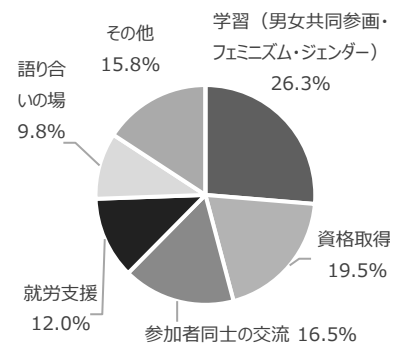
2 月実施の再就職セミナー（連続講座）では、土曜日の受講者が平日の半数となり、欠席の理由で多かったのが「家族がいるから家を出にくい」というものでした。

再就職の際に問題になる家族との関係や家事分担など、まさにジェンダー問題が可視化された事例でした。

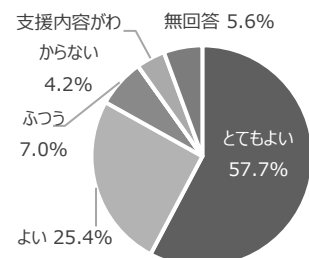
また、男性対象の講座「地域活動スタートセミナー」は 30 代から 70 代と幅広い年齢層からの申し込みで、その全員が参加しました。地域活動というテーマへの共感が出席率 100%という結果につながったと考えています。目的の自主グループ結成にこそ至りませんでしたが、「居場所を求めている人」を「居場所活動をしているグループ」へとつなぐことができました。

【設問 20】では、とてもよい 57.7%、よい 25.4%と高評価ながら、女性団体の活動支援が中心ですので、さらなる周知が必要と考えています。

今後も、夜間・休日での利用が可能な駅近の環境を活かして、一時保育利用やオンライン参加など、求めている方々か参加しやすい形を模索いたします。



【設問 17】 講座などの催しに期待するもの（構成比%）

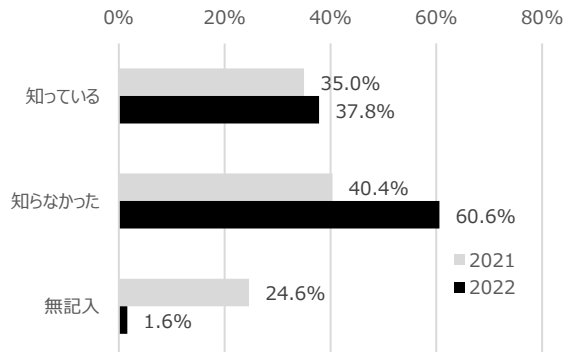


【設問 20】 すてっぷの市民活動支援について（構成比%）

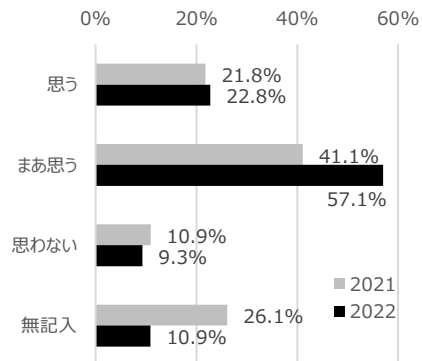
6. 性別に起因する人権侵害及び悩みに関する相談事業について

(アンケート設問相談 14～15)

総合的に”エンパワメント”する、多様なメニューの周知を継続(15-16)



【設問 15】 面接相談/電話相談/働く女性のための生き方電話相談/ガールズ電話相談/法律相談/離婚にまつわるお金の相談/からだと心と性の相談/労働相談/就労相談 (構成比%)



【設問 16】 女性相談の他に「男性のための電話相談」もあります。悩んでいる男性の知人にすすめたいと思いますか (構成比%)

【設問 15】「相談を全て無料で行っていることを知っているか」についてみると、「知っている」が 37.8% (前年 35.0%) で、「知らなかった」が 60.6% (前年 40.4%) と回答しています。「知っている」については微増、「知らなかった」が約 20 ポイントと大きく増加しました。はじめて来館された方が多かった影響もありますが、全ての相談メニューを無料で受けられることを広く知ってもらえるよう、引き続きホームページや SNS、新たな広報ツールで用いて周知するように努めていきます。

【設問 16】「男性のための電話相談を悩んでいる男性の知人にすすめたいか」をみると、「思う」「まあ思う」と回答した合計が 79.9% (前年 62.9%) と 17 ポイント増加しました。

具体的な取組みとしては、男らしさに捉われ「生きづらい男性」が相談につながるように、前年同様、国際男性デーにちなんで特別電話相談を実施しました。

引続き、ひとりで悩みを抱えがちな男性に、利用しやすいと感じてもらえるよう周知に取り組んで参ります。

【ご意見事例】

相談50代女性	相談できて気持ちが少し楽になりました。
相談50代女性	今まで相談できなかった内容について初めて相談できた事。 相談できた事で自分の気持ちを整理する事ができ、前進できた事。
相談30代女性	カウンセリングを通してとても大切な体験をすることができたのでよかったと思っています。
相談60代女性	日々の生活でほんとうに困っていて、友人、知人には相談しにくい、できない事を相談にのっていただき、助けていただいています。秘密厳守ということで話をきいていただけるのがとてもたすかります。

「広報とよなか」掲載減少の影響（16）

（アンケート設問相談 16～18）

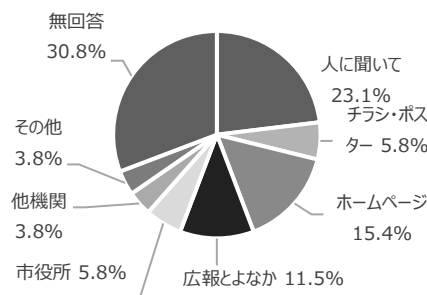
【設問 17】相談室を知ったきっかけ、をみると、無回答が最も多くなりました。そこで、回答があった項目だけで比較してみると「人に聞いて」が最も多く 33.3%で、前年の 22.2%より 11.1 ポイント増加しています。

「人から聞いて」の回答は「人から勧められて」ということであると解釈できますので、相談事業について一定の評価を得られていると考えます。

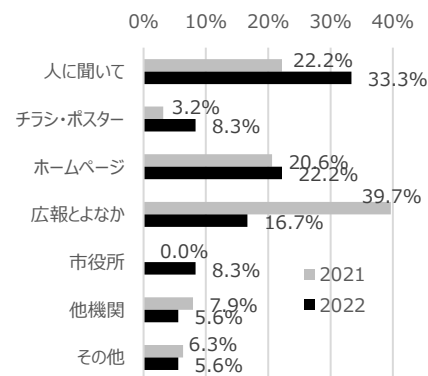
お勧めいただけるよう努めます。

一方で、前年は「広報とよなか」が 39.7%で最も多かったのですが、今回は 16.7%と 23 ポイントも減少、月次の掲載が無くなった影響が数字に表れる結果となりました。

今後は、大きな影響力があった「広報とよなか」の掲載が年 1 回となった分、2 番目に多い「ホームページ」22.2%（前年 20.6%）や、チラシの相談メニューをわかり易く伝え、多くの方々に知っていただける工夫をして参ります。



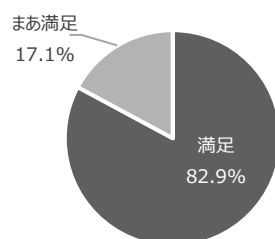
【設問 17】相談室を知ったきっかけ（構成比%）



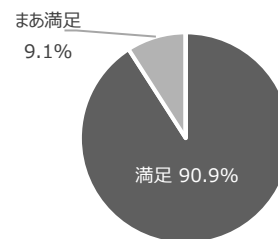
【設問 17】相談室を知ったきっかけ（構成比%）※2021、2022 年度とも無回答を除いた

相談対応への満足度は高水準を維持

受付や相談員の対応満足度は、無回答を除くと「満足」「まあ満足」を合わせて 100%で、高水準を維持できていると考えています。「相談できて気持ちが少し楽になった」「今まで相談できなかった内容について初めて相談できた」「カウンセリングを通してとても大切な体験をすることができたのでよかった」などの声が寄せられています。相談員は相談者の悩みを受け止めながら一緒に状況を整理し、相談者が自ら行動できるようエンパワメントしています。



【設問 17】受付職員の対応満足度（構成比%）無回答を除く



【設問 18】受付職員の対応満足度（構成比%）無回答を除く

【ご意見事例】

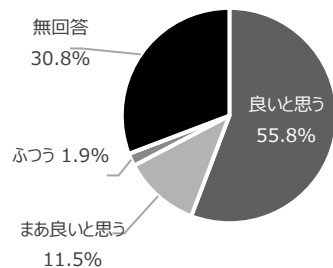
相談60代女性	信頼できる相談員の方に出会えた。今までの考え方を少しずつ変えられるキッカケをいただけたこと、幸せやと思う時間が増えたと思う。(感じれる)
相談40代女性	親身になってお話を聞いて下さること、いつも(私の希望どおり)短くても何かアドバイスを下さること。
相談60代女性	誰にも相談ができなくて苦しかった事を親身になって聞いていただいて、とても嬉しく安心しました。
相談30代女性	目を見て話してくれること、聞いてくれることがこんなにも救われることだと知り、自分との向き合い方を一緒に考えてくれることがありがたいです。

(アンケート設問相談 19～20)

女性に対する暴力防止への取組み

毎年、内閣府の「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせて女性に対する暴力防止のポスター・パネル展示を行っています。このような啓発の取組みについての問いには「良いと思う」「まあ良いと思う」と回答した人の合計が約 70%（無回答は約 30%）でした。

コロナ禍で DV 増加が社会課題となり、女性に対する暴力防止への取組みがより一層求められています。ひとりで悩み苦しむことのないよう、また周囲が気づいた時に安心して相談できる場所があることを知ってもらえるよう周知活動に取り組みます。



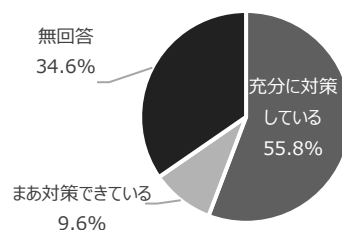
【設問 19】女性に対する暴力防止の取組みへの関心（構成比%）



パープルキルトを通して、女性に対する暴力防止を訴える展示

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策 (20)

【設問 20】では「充分に対策している」「まあ対策できている」と回答した合計が 65.4%と高く評価されました（無回答が 34.6%）。これは、安心して相談できる環境を作ってきた結果と受け止め、引き続き適切な感染症拡大防止対策に努めて参ります。



【設問 20】女性に対する暴力防止の取組みへの関心（構成比%）

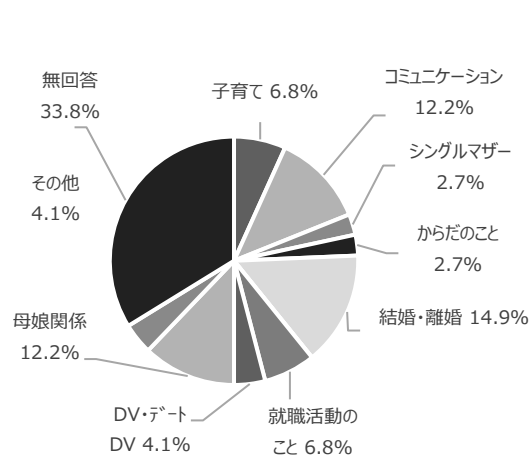
グループ相談会への要望

(アンケート設問相談 21)

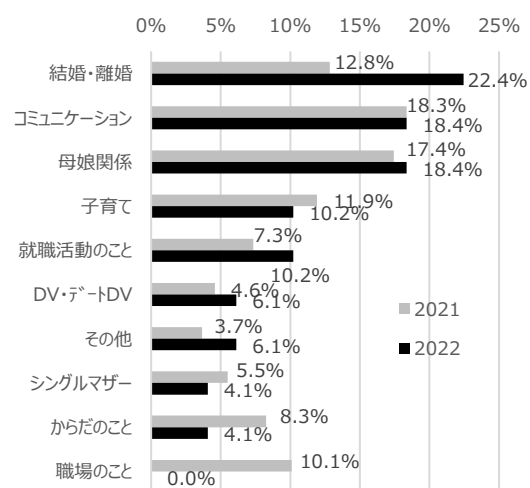
相談室では相談から見える課題をテーマとして取り上げ、毎年グループ相談会を実施しています。【設問 21】「どんなテーマのグループ相談会なら参加してみたいか」を項目（無回答を除く）でみると、1 位が「結婚・離婚」22.4%（前年 12.8%）、2 位が同率で 12.2%「コミュニケーション（前年 18.3%）」と「母娘関係（前年 17.4%）」という結果になりました。

要望が比較的多い「母娘関係」をテーマにしたグループ相談会を実施しましたが、同じ悩みをもつ少人数のグループの中で「お互いに聴く、話す」ことにより、悩んでいるのはひとりではない、と安心できる場づくりとなるよう工夫しました。

今後も、参加者同士が互いに気持ちを受けとめ仲間と分かち合えるようなグループ相談会を企画し、エンパワメントにつながるよう提案していきます。



【設問 21】グループ相談会への要望（構成比）



【設問 21】グループ相談会への要望（構成比）※2021、2022 年度とも無回答を除く

【苦言、要望】

相談40代女性	予約が取りにくいので、もっと予約が取りやすくなればいいと思う。
相談60代女性	現環境が変わる様専門家のご指導ご協力頂ければ幸いです。 又、国、自治体の取り組み支援等も(私の環境に合った)詳しく教えて頂きたいです。
相談50代女性	HP で予約変更とかできたら便利かもしれませんが今でもまんぞくしています。
相談50代女性	DV に対する相談は色んな所でできるが、実際は女性が逃げる以外に方法がないと思います。 何かよい方法があれば世の中に提案してほしいです。